



## 2024年8月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年1月12日

上場会社名 株式会社デザインワン・ジャパン 上場取引所 東  
 コード番号 6048 URL <https://www.designone.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高島 靖雄  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理本部長 (氏名) 田中 誠 (TEL) 03(6421)7438  
 四半期報告書提出予定日 2024年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年8月期第1四半期の連結業績(2023年9月1日~2023年11月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年8月期第1四半期	584	△4.6	△30	—	△29	—	△29	—
2023年8月期第1四半期	612	14.7	22	△49.5	33	△31.5	21	△21.2

(注) 包括利益 2024年8月期第1四半期 △24百万円(—%) 2023年8月期第1四半期 8百万円(△69.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年8月期第1四半期	△2.02	—
2023年8月期第1四半期	1.48	1.47

(注) 2024年8月期第1四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年8月期第1四半期	3,655	3,086	84.4
2023年8月期	3,672	3,111	84.7

(参考) 自己資本 2024年8月期第1四半期 3,086百万円 2023年8月期 3,111百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2024年8月期	—	—	—	—	—
2024年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年8月期の連結業績予想(2023年9月1日~2024年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,541	4.6	△141	—	△137	—	△146	—	△9.90

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 -社(社名) - 、除外 -社(社名) -

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 無  
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年8月期1Q	15,173,900株	2023年8月期	15,173,900株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2024年8月期1Q	426,258株	2023年8月期	426,258株
------------	----------	----------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2024年8月期1Q	14,747,642株	2023年8月期1Q	14,745,542株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予測等の将来に関する記載につきましては、本資料発表時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる結果となる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(追加情報)	8
(セグメント情報等)	8
(重要な後発事象)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済活動の正常化が進み、緩やかながらも景気回復傾向で推移いたしました。円安や物価上昇などの影響もあり、景気の先行きは見通しにくい情勢となっています。

世界経済におきましても、ウクライナおよびパレスチナにおける地政学リスクが長期化していることや欧米における金融引き締め、中国経済の先行き懸念などにより、回復基調は弱含みとなっております。

このような経営環境のもと、当社グループは「Webマーケティング技術」や「システム開発力」を活かし、店舗情報ロコサイト「エキテン」を中心にサービスを提供するとともに、子会社を通じた事業の多角化を積極的に促進いたしました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、当社グループの主力事業である店舗情報ロコサイト「エキテン」の低迷を主因として、584,045千円（前年同四半期比4.6%減）となりました。利益につきましては、販売費及び一般管理費は減少したものの売上高減少の影響が大きく、営業損益は30,488千円の損失（前年同四半期は22,502千円の利益）、経常損益は29,023千円の損失（前年同四半期は33,398千円の利益）、親会社株主に帰属する四半期純損益は29,829千円の損失（前年同四半期は21,766千円の利益）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」としておりました「HRソリューション事業」を報告セグメントへ記載する方法に変更しており、当第1四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

#### (インターネットメディア事業)

当社グループの主力事業である店舗情報ロコサイト「エキテン」におきましては、新規店舗の獲得を進めるために様々な施策に取り組んでおります。商品力の強化においては、求人広告など他のサービスとの連携を進め、店舗がより使いやすいシステム開発に継続的に取り組みました。販売面での取り組みとしては、有料店舗会員の定着化を目的として、エキテンの店舗予約サービスの使用促進を図るための施策に注力しました。しかしながら、検索サイトのアルゴリズム変更に対する対応、および営業要員の採用・教育の遅れなどにより受注は厳しい状況が続きました。

その結果、当第1四半期連結累計期間末における「エキテン」の無料店舗会員数は310,095店舗、有料店舗会員数は15,786店舗（前連結会計年度末比656店舗減少）となり、売上高は減少いたしました。

また、専門業者（遺品整理、片付け等）のマッチング・サイトを運営するオコマリ株式会社につきましては、売上高は堅調に推移する一方、販売費及び一般管理費の抑制に努めた結果、増益となりました。

これらの結果、インターネットメディア事業の売上高は373,103千円（前年同四半期比13.4%減）となりました。セグメント利益につきましては、販売費及び一般管理費は前第1四半期連結累計期間と同等水準であったことから、売上高減少の影響により7,009千円（前年同四半期比87.4%減）となりました。

#### (DXソリューション事業)

売上高につきましては、ベトナムのシステム開発子会社であるNitro Tech Asia Inc Co. Ltd.を活用したオフショア開発事業は伸び悩んだものの、ポスティングやWeb広告を事業内容とする株式会社DEECHはWeb広告が好調で、Web制作・受託開発・ホスティングサービスなどを展開している株式会社イー・ネットワークスも増収を実現いたしました。利益につきましては、販売費及び一般管理費が各社において増減はあったものの全体としては前第1四半期連結累計期間と同等水準であったことから、赤字幅が減少いたしました。

この結果、DXソリューション事業の売上高は200,988千円（前年同四半期比20.9%増）、セグメント損失は19,442千円（前年同四半期はセグメント損失27,562千円）となりました。

#### (HRソリューション事業)

株式会社昼jobの人材紹介サービスは、ナイトワーク出身者の求職環境は依然として厳しい中、当第1四半期連結累計期間は求職者登録数や面談率の減少などの影響を受けました。

この結果、HRソリューション事業の売上高は13,490千円（前年同四半期比41.5%減）、セグメント損失は5,437千円（前年同四半期はセグメント利益2,673千円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末における総資産につきましては、前連結会計年度末に比べ16,810千円減少し、3,655,895千円となりました。

これは主に、売掛金の増加（前連結会計年度末比32,545千円増）等がありましたが、現金及び預金の減少（前連結会計年度末比47,959千円減）及び、流動資産その他の減少（前連結会計年度末比3,514千円減）等によるものです。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債につきましては、前連結会計年度末に比べ8,086千円増加し、569,130千円となりました。

これは主に、長期借入金の減少（前連結会計年度末比10,258千円減）等がありましたが、賞与引当金の増加（前連結会計年度末比24,870千円増）等によるものであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ24,896千円減少し、3,086,765千円となりました。

これは主に、その他有価証券評価差額金の増加（前連結会計年度比4,558千円増）等がありましたが、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等による利益剰余金の減少（前連結会計年度末比29,829千円減）等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2023年10月13日の「2023年8月期 決算短信」で公表いたしました連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,360,692	2,312,732
売掛金	160,353	192,898
契約資産	14,731	7,002
有価証券	400,000	400,000
仕掛品	59	271
貯蔵品	3,267	3,653
その他	81,649	78,134
貸倒引当金	△19,291	△21,827
流動資産合計	3,001,462	2,972,865
固定資産		
有形固定資産	46,367	47,341
無形固定資産		
のれん	100,033	101,380
その他	2,571	2,164
無形固定資産合計	102,605	103,544
投資その他の資産		
投資有価証券	344,568	348,528
その他	179,930	188,728
貸倒引当金	△2,226	△5,113
投資その他の資産合計	522,271	532,143
固定資産合計	671,243	683,029
資産合計	3,672,705	3,655,895

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	13,798	19,318
1年内返済予定の長期借入金	37,695	39,229
未払金	155,251	157,865
未払法人税等	11,215	3,996
役員賞与引当金	166	223
賞与引当金	7,164	32,034
ポイント引当金	4,294	3,964
その他	100,896	90,914
流動負債合計	330,482	347,546
固定負債		
長期借入金	186,814	176,556
資産除去債務	36,512	36,523
その他	7,234	8,504
固定負債合計	230,561	221,583
負債合計	561,043	569,130
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	648,999	648,999
資本剰余金	629,981	629,981
利益剰余金	1,834,009	1,804,179
自己株式	△100,186	△100,186
株主資本合計	3,012,803	2,982,973
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	36,173	40,731
為替換算調整勘定	62,684	63,059
その他の包括利益累計額合計	98,858	103,791
純資産合計	3,111,661	3,086,765
負債純資産合計	3,672,705	3,655,895

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
売上高	612,259	584,045
売上原価	145,253	184,996
売上総利益	467,005	399,048
販売費及び一般管理費	444,502	429,537
営業利益又は営業損失(△)	22,502	△30,488
営業外収益		
受取利息	2,573	4,582
その他	18,791	866
営業外収益合計	21,365	5,448
営業外費用		
支払利息	448	707
貸倒引当金繰入額	7,832	-
貸倒損失	2,154	9
投資事業組合運用損	-	2,610
その他	34	656
営業外費用合計	10,469	3,984
経常利益又は経常損失(△)	33,398	△29,023
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	33,398	△29,023
法人税、住民税及び事業税	7,217	2,500
法人税等調整額	4,415	△1,693
法人税等合計	11,632	806
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,766	△29,829
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	21,766	△29,829

## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	21,766	△29,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△218	4,558
為替換算調整勘定	△12,862	374
その他の包括利益合計	△13,081	4,933
四半期包括利益	8,684	△24,896
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,684	△24,896

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(追加情報)

(連結子会社における訴訟について)

連結子会社である株式会社イー・ネットワークスに対して、2022年1月21日に元株主から一部の株式について現在も株主であることを主張する旨の訴訟が提起されております。

当社グループとしましては、原告の主張には合理性がないものとして、原告の請求の棄却を主張して参ります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年9月1日 至 2022年11月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額(注) 2
	インター ネットメ ディア事業	DXソリュー ション事業	HRソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	430,943	158,570	22,745	612,259	—	612,259
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	7,644	300	7,944	△7,944	—
計	430,943	166,215	23,045	620,203	△7,944	612,259
セグメント利益又は損 失(△)	55,819	△27,562	2,673	30,931	△8,428	22,502

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△8,428千円には、セグメント間取引消去8,205千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用16,633千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年9月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損益計算書計上額(注) 2
	インター ネットメ ディア事業	DXソリュー ション事業	HRソリュー ション事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	373,103	198,051	12,890	584,045	—	584,045
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	2,937	600	3,537	△3,537	—
計	373,103	200,988	13,490	587,582	△3,537	584,045
セグメント利益又は損 失(△)	7,009	△19,442	△5,437	△17,871	△12,617	△30,488

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△12,617千円には、セグメント間取引消去4,283千円及び各報告セグメントに配分していない全社費用△16,900千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、従来「その他」としておりました「HRソリューション事業」の量的な重要性が増したため、報告セグメントへ記載する方法に変更いたしました。

なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。